

全米2週連続No.1大ヒット

それは、今日 起こるかもしれない

CIVIL WAR

シビル・ウォー

アメリカ最後の日

監督/脚本:アレックス・ガーランド 出演:キルステン・ダンスト、ワグネル・モウラ、ステイヴン・マックインリー、ヘンダーソン・ケイリー、スピーニー
原題:CIVIL WAR 2024年 | アメリカ・イギリス映画 | 字幕翻訳:松浦美奈 | 109分 | 配給:ハピネットファントム・スタジオ ©2023 Miller Avenue Rights LLC, IPR.VG Fund II KY. All Rights Reserved.

IMAX Dolby

もし今、アメリカが2つに分断され、内戦が起きたら——
A24史上最大の製作費で贈る、ディストピア・アクション

Happinet A24

10/4

109分、あなたが戦慄とともに<体感>するのは、 “世界最大国家”の終焉。

現代を映し出す衝撃作。——IGN

傑作だ。心臓は常に高鳴り続け、最終幕には顎が床についた。——Fangoria

まるで戦場にいるような没入感。——Indiewire

A24史上最大規模&2週連続全米1位を獲得。 現代を描く、衝撃の問題作。

今や世界を席巻するA24が、史上最高の製作費を投じ、アメリカで起きる内戦を描く『シビル・ウォー アメリカ最後の日』。メガホンをとったのは、『28日後...』で脚本を担当し、長編デビュー作『エクスマキナ』で第88回アカデミー賞®視覚効果賞を受賞する快挙を果たしたアレックス・ガーランド。世界71の国と地域で公開を迎えた本作は、(7/18時点)2週連続で全米第1位を獲得した。11月に大統領選挙を控えるアメリカ国内では、本作の内容が物議を醸しており、バイデン大統領・ハリス副大統領も鑑賞を希望しているという。



「お前は、どの種類のアメリカ人だ？」

連邦政府から19もの州が離脱したアメリカ。テキサスとカリフォルニアの同盟からなる“西部勢力”と政府軍の間で内戦が勃発し、各地で激しい武力衝突が繰り広げられていた。「国民の皆さん、我々は歴史的勝利に近づいている——」。就任“3期目”に突入した権威主義的な大統領はテレビ演説で力強く訴えるが、ワシントン

D.C.の陥落は目前に迫っていた。ニューヨークに滞在していた4人のジャーナリストは、14ヶ月一度も取材を受けていないという大統領に単独インタビューを行うため、ホワイトハウスへと向かう。だが戦場と化した旅路を行く中で、内戦の恐怖と狂気に呑み込まれていく——

10/4 Fri 勃発 IMAX Dolby

公式HP: <https://happinet-phantom.com/a24/civilwar/>
公式X: @civilwar_jp

